

【著者・監訳者・訳者】

著者：ダニエル・ジョイス (Daniel Joyce)

UNSW Law & Justice 准教授。専門は国際法、メディア法、人権。ケンブリッジ大学で法学修士号および法学博士号を取得。ケンブリッジ大学トリニティ・カレッジで国際法のウィーヴェル奨学生、シニア・ラウス・ボール・スチューデントを務める。また、コロンビア大学ロースクールで客員研究員を1年間務めた。その後、ヘルシンキ大学で国際法と人権のエリック・カストレン特別研究員として博士研究員を務め、現在も同大学特別研究員。オーストラリア人権研究所 (Australian Human Rights Institute) のアソシエイトであり、Allens Hub for Technology, Law & Innovation のメンバーでもある。Australian Journal of Human Rights 編集委員会、Cambridge Journal of International Law 学術審査委員会、Queen Mary Human Rights Law Review 編集審査委員会メンバー。

2013年にケンブリッジ大学ローターバクト国際法センター客員研究員、2016年に欧州大学研究所法学部客員研究員を務めた。2014年国際法ジュニア・ファカルティ・フォーラムの受賞者。Jessie Hohmann とともに『International Law's Objects』(OUP、2018年)を編集。デイヴィッド・ロルフ、マット・ヴィティンス、ジュデイス・パニスターとの共著に『Media Law』がある：Cases, Materials and Commentary, Second Edition』(OUP、2015年)の共著者。単著『Informed Publics, Media and International Law』は2020年にHartより出版。

ニューサウスウェールズ州弁護士資格を有し、弁護士として活動。学業に携わる前は、ニューサウスウェールズ州検察局で事務弁護士として刑法の実務に携わる。また、さまざまな人権NGOでボランティア活動も行っている。

監訳者：根岸陽太（ねぎし ようた）

西南学院大学法学部教授。専門は国際公法、比較公法。早稲田大学大学院法学研究科修士・博士課程修了。日本学術振興会特別研究員DC1（2013～2016年度）・DC2（2016～2018年度）。日本学術振興会第6回育志賞。2014年～2017年マックス・プランク比較公法・国際法研究所客員研究員。著書として、『Conventionality Control of Domestic Law: Constitutionalised International Adjudication and Internationalised Constitutional Adjudication』（Nomos、2022年）（第55回安達峰一郎賞受賞）。*European Journal of International Law*を含む海外の国際法学雑誌、国際法外交雑誌・世界法年報を含む国内の国際法学雑誌に論文を掲載。国際公法・比較憲法に関する論文を国内外の出版社の編著に寄稿。翻訳書として、ジャン・ダスブルモン（根岸陽太訳）『信念体系としての国際法』（信山社、2023年）。

訳者：稲森幸一（いなもり こういち）

東京大学法学部卒業。名古屋大学修士課程国際人権法専攻。2003年弁護士登録（愛知県弁護士会）。2004年～2008年 愛知大学法科大学院非常勤講師。2008年～2013年米国留学（ニューヨーク大学ロースクール、アメリカン大学ロースクール）、ニューヨーク州司法試験合格、ニューヨーク州弁護士。2015年より福岡国際法律事務所所属、福岡県弁護士会所属。2017年独立して稲森幸一国際法律事務所を設立。日弁連国際人権問題委員会 事務局次長、ビジネスと人権PT座長。医療問題研究会福岡弁護団所属。2023年～西南学院大学大学院法学研究科博士後期課程在籍。

訳者：花田明男（はなだ あきお）

九州朝日放送（本社：福岡市）考査室長。1991年に九州朝日放送入社以来、テレビ営業部、報道部、国際ビジネス部、地域企画部などを歴任し、報道部では警察、福岡県政、福岡市政、経済担当記者として取材活動を行った。2009年以降は西日本一帯で甚大な被害が報告された食品公害「カネミ油症」を取材して4作品のドキュメンタリーを制作。2011年～2013年にニュース番組「スーパーJチャンネル九州・沖縄」プロデューサー、2020年～2021年には解説委員を務めた。主な受賞は、ラジオ番組「救済、未だ遠く…～カネミ油症40年 ある女性患者の闘い～」が日本民間放送連盟賞ラジオ報道部門で優秀賞（2009年）、テレビ番組「背負いし十字架～カネミ油症事件40年目の証言」がプログレス賞最優秀賞（2010年）、テレビ番組「救済のとき～カネミ油症42年 被害者たち闘いの軌跡～」が「地方の時代」映像祭放送局部門で選奨（2010年）、ラジオ番組「この命救済に捧ぐ～カネミ油症42年 被害者たちの闘いの記録」がギャラクシー賞ラジオ部門で選奨（2011年）。現在、西南学院大学大学院法学研究科博士前期課程在籍。